

都留市と姉妹都市を提携しているアメリカのテネシー州、ヘンダーソンビル市に二校の姉妹校を持つ桂高校から、今年度も二人の長期留学生が派遣されました。今月はその内の一人、柳 美早さんを紹介します。

長期留学を終えて

桂高等学校 柳 美早

私は平成九年度第三回桂高校長期留学生として、八月から十二月までの約五カ月間、ヘンダーソンビル市にあるビーチ高校へ行ってきました。

中学生のころから、アメリカへ留学してみたいという思いがありました。自分でも飛行機に乗ったり、自分一人で飛行機に乗ったりと、初めての事はばかりで不安もたくさんありました。しかし、実際にアメリカに着いてみると、実際にアメリカのスタン先生やホストファミリーのハーンドンさん一家、ヘンダーソンビル市の皆さんがいろいろな所で助けてくれたので、不安もすくなくなりました。

ビーチ高校では日本の高校と違い、自分の好きなものを四教科選び、それを毎日学びます。私はキーボーディングというコンピュータを使うクラス、コーラス、スペイン語、そしてアプライド・コミュニケーションズ (Applied Communications) という英語のクラスを選択しました。

キーボーディングのクラスでは、コンピュータを使って文字を入力すること、そのためのルールなどを学びました。そのために毎日、ウォーミングアップや、タイムド・ライティング (Timed Writing) といひ、一分間にできるだけ多くの文字をできるだけ正確に入力するという練習をしました。桂高校にはない授業ですが、まったくキーボーディングの技術がなかった私にとって、将来必ず必要となるこの技術を学ぶ大きなきっかけとなりました。

コーラスのクラスでは、十二月にクリスマスコンサートを開き、クリスマスソングと日本の「桜」を披露しました。このクラスの中ではそのための歌の練習が中心でしたが、コンサートが近づいてくると、授業以外にもリハーサルがあり、その中やクラスの中で、歌と一緒に振り付けやタップダンスの練習をたくさんしました。

スペイン語のクラスは、日本にいるときからスペイン語に興味があ

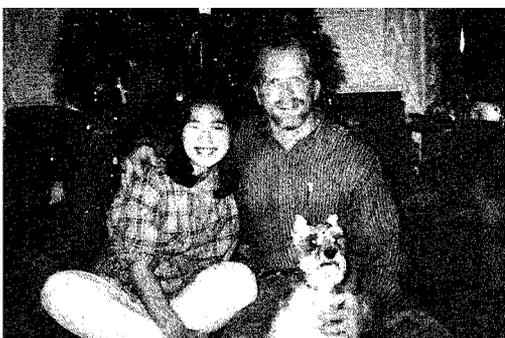


最前列の中央が美早さん

あったので、ビーチ高校でぜひ学びたかったものの一つでした。やはり、英語とは違う外国語を学ぶのはとても大変でした。しかしこのクラスは、その文法や単語だけを学ぶのではなく、スペイン語圏の他の文化も学び、とても興味深く、たくさん知りました。

アプライド・コミュニケーションズでは、普通の英語のクラスと違い、文法・単語・文学というよりも、情報の伝達の仕方、グループワークなどのコミュニケーション、特に職場など他の人と一緒に仕事などをする時に必要となるコミュニケーションについて学びました。その中で学んだ、情報の伝達の仕方の技術を使い、日本の「だるま落とし」の遊び方を紹介しました。「だるま落とし」は、クラスのみんなに好評でした。

学校に初めて行った時は、自分の友達も、知っている人も誰もい



ホームスティ先のお父さんと

この留学で、たくさんの人に出会い、たくさんを経験を体験し、とてもよい経験ができました。これからはこの経験をいろいろなことに生かしていきたいと思ひます。そしてまたいつか、ヘンダーソンビル市を訪れたいと思ひます。

最後に、この留学を成功させるために助けてくださったヘンダーソンビル市や都留市の方々、そして特に、私の一番大きな力になってくれた両親に、感謝の気持ちでいっぱいです。

